

# 『主体性』と『自主性』の違いとは？？

本校独自の教育ビジョン『SPARK for our well-being !』の『重点事項』の②として  
『主体性（≠自主性）』と『当事者意識』の育成』とあげています。

## ★『主体性』とは？★

### 主体性

自分の意思で判断し、自ら考えて、責任をもって進んで行動する力

特徴・『なぜそれをするのか？』という『目的意識』がある！

- ・他人や状況に流されず、『自ら選択・行動』する！
- ・周囲の影響を受けても、『自分の軸』で考える！

＜例＞・学校のルールを見直そうと、生徒会や委員会、友人たちと話し合って企画書や提案書を作る！



・地域の課題に気づき、先生に相談しながらプロジェクトを立ち上げる！

## ★『自主性』とは？★

### 自主性

決められたことに対して  
進んで行動する力

特徴・『決められたこと』の範囲で『指示』がなくて  
も『自発的』に動く！

- ・テスト勉強や課題などを『自分のペース』で進める！

＜例＞・宿題を誰に言われなくても計画的にやる！



・清掃時間に、先生がいなくても真面目に掃除をする！

## ★違いをひと言で言うと？★・・・『自主性<主体性』です！！

『自主性』は、「決まっているルール」や「望ましいとわかっている習慣」への『従順な自律』であり、『決められた範囲』のなかでの『限られた』チカラ。それに対し、『主体性』は、「答えのない課題」や「創造的行動」への『責任』ある『能動的な関与・チャレンジ』であり、『予測困難な変化の激しい時代』に必要とされるチカラである！

# 『当事者意識』とは、どんなチカラ？？

『当事者意識』とは、物事に対して『自分が関係している』『自分の問題でもある』と自覚し、自ら『責任』を持って関わろうとする意識のことです。

🔍 『当事者意識』をわかりやすく言うと、①②のようになります！

①『自分ごと・自分にも関わり合いがあること』として物事を捉える態度

②『誰かがやるべき』ではなく、『自分にできることはなにか？』と考えて行動する気持ち



Students' Power of Agency  
and Resilience at Kirisho  
for our well-being!

『当事者意識』を高くすると

下のような力が身につくよ！

◆ 育成できる力

①『主体性』

②『エージェンシー（自ら考え、判断し、行動する力）』

③『自己効力感（自分にもできる、という感覚）』

④『責任感』

⑤『課題解決能力』

## 『当事者意識』 vs 『クレーム社会』

★『クレーム社会』の特徴★ 『だれかのせい』という考え方になりやすい！『自分にできること』を探すことなく、相手への『糾弾と要求』に向かいやすい！

### ◆ 『当事者意識』がもたらす社会的効用◆

- ・単なる不満ではなく、『どうすればよくなるか』と一緒に考え、行動する土壤が育つ！
- ・『誰かがやってくれる』から『自分も役割の一部や責任を負う』方向へと意識が変化する
- ・『批判』ではなく、『対話と理解を重ねて「よりよい状態」を一緒に模索』できる！
- ・『受け身』ではなく、『自ら関与し「責任」をもつ一員としての意識』が育つ！

『当事者意識の醸成』は、『問題をともに担い、乗り越える文化』づくりの基盤です。したがって、『クレーム社会』を乗り越える力ギは、一人ひとりが『当事者』として『課題に向き合う姿勢』を育むことにあります。『だれかのせい』にして日々を嘆くより、『当事者』として関わることで、少しでも良いから『前よりよくなった』ことを讚えあう方が『ウェルビーイング（幸せ）』を感じやすいと思います！『日常に変革を与えられる人』のことを『Innovator（イノベーター）』と呼ぶ

のだと昨年群馬を訪れたOECDの方が言っていました！みなさんも『みんなに幸せをもたらすInnovator』を目指しませんか？ 校長 星野 亨

